

いろはにスマホブック

・ ・ ・ ・  
インド株投資  
初心者向けガイド

いま注目のインド市場  
基礎知識・今後の展望

いろはにマネー編集部

当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。  
また、まとめサイト等への引用も禁じます。  
情報は2024年7月時点のものです。

本書籍は特定の商品への投資を推奨するものではなく、情報提供を目的としたもの  
です。投資は各自の判断・自己責任にてお願いいたします。

Copyright(C) Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

# はじめに

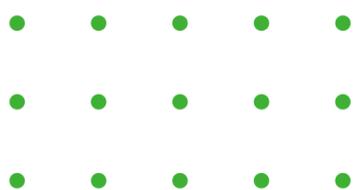


近年では国内株式や米国株での資産運用だけではなく、新興国株式に投資をする人が増えてきています。中でもここ最近で注目されている国が**インド**です。

UNEPAの推計によると、**インドの人口は14億人を超え**、中国の人口を抜いて**世界第一位**となりました。労働人口が増えることで、生産力の向上が期待されます。

また、**インドはIT産業が盛んで**、世界から注目を集めています。数学を得意とする国民性や、アメリカとの時差が12時間あるという地理的な背景から急速に発展しています。

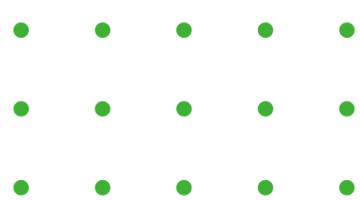
このように、インドは今後の成長がかなり期待されており、投資先の候補として考えている方も多いでしょう。**本書からインド市場について学び、今後の投資にぜひ役立ててみてください。**



# 目次



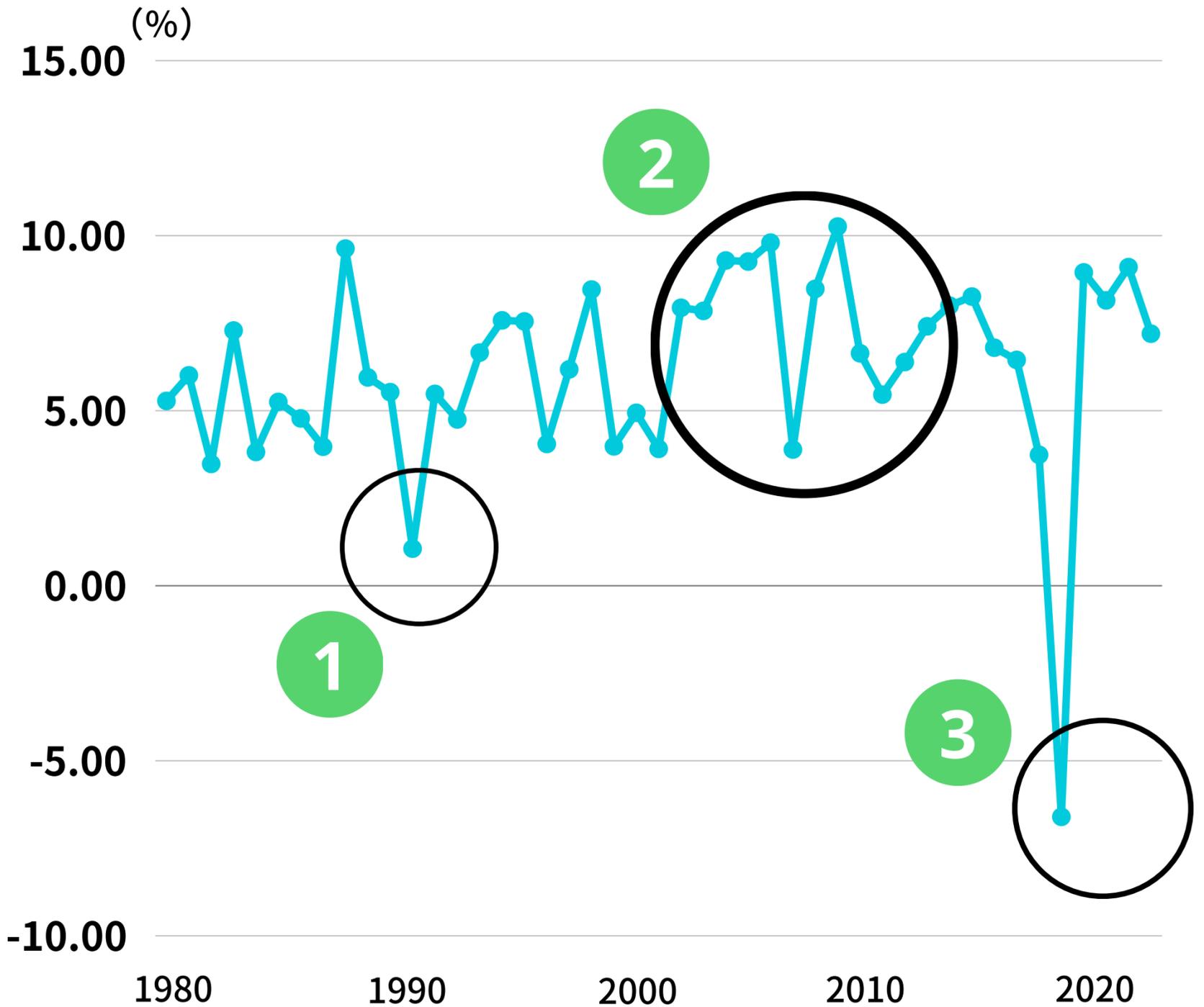
- 03 …… **インド経済の推移**
- 04 …… **インド株式市場の現状**
- 05 …… **インド株投資の特徴**
- 06 …… **インド株投資のリスク**
- 07 …… **インド株の将来展望**
- 08 …… **インド株の購入方法**
- 09 …… **有望セクターと銘柄分析**
- 10 …… **インド株投資の投資戦略**
- 11 …… **まとめと今後の展望**



# インド経済の推移



## GDP成長率で見るインドの経済状況



### 1の背景

- 90年代から始まった**湾岸戦争**の影響
- 1991年には**史上2番目の低さ**の成長率1.06%に

### 2の背景

- 数学力を武器に**世界のIT先進国**に
- 安い賃金や英語力、時差など好条件がそろう

### 3の背景

- **新型コロナ**対策に失敗し、感染者数が世界一に
- **過去最低の成長率-0.8%**を記録



# インド株式市場の現状

インドで代表的な株価指数である「SENSEX」の値動きを見てみましょう。

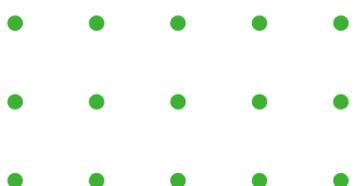


Google Financeより引用

SENSEX指数は2024年7月に**8万台**を超え、史上最高値を更新しました。2020年にはコロナショックもありましたが、**全体的に右肩上がり**となっています。

SENSEX指数は、インド最大の証券取引所である「ボンベイ証券取引所」に上場する銘柄のうち、流動性や売買規模、業種などの点で代表的な銘柄で構成される時価総額加重型の株価指数です。

業種別では、**情報通信や金融**の比重が重く、財閥系の企業が多いのが特徴です。



# インド株投資の特徴

## 高い成長率



SENSEX指数は、ここ10年で約**3.4倍**上昇しており、**米国を代表するS&P500指数を上回る**上昇率を記録しています。かなりのリターンを期待できる金融商品であることは間違いありません。

## 割高？割安？



インド株全体の**PBRは約3.3倍**となっており、割高な水準となっています。しかし、今後の成長が見込めるため、株価に多少のプレミアムがついてもおかしくありません。**割高であることを気にしすぎる必要はない**でしょう。

## 中国からインドへ



インドは、中国に代わって急成長する新興国市場として、注目を集めています。中国は米中対立や経済低迷などの投資リスクを抱えており、**海外マネーが中国からインドに流入**しています。

# インド株投資のリスク

## 想定されるリスク



### 政治リスク



インドは、6月の総選挙が予想外の結果となり、**モディ政権の政策実行力が弱まる**との懸念があります。

また、周辺国との関係など世界情勢を常に意識していく必要があります。



### 為替リスク



ドル高・ルピー安が加速しています。

人口が多い内需大国である**インドの貿易収支は慢性的に赤字傾向**です。また、**外国人投資家によるインド株売りが進んだこと**も要因の一つです。

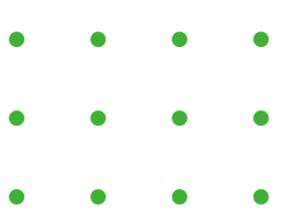


### 財政リスク



インド経済は**赤字が継続**しており、**財政赤字の対GDP比率は約5.1%**となっています。徐々に財政健全化が進み、財政赤字は縮小傾向となっているため、今後注目です。

# インド株の将来展望



## インド株の底堅い成長



2023年の代表的なインド株式指数である**S&P BSE SENSEX**指数は**+18.7%**上昇。

史上最高値も更新しており、今後の世界的なインフレ懸念の中でも、成長余地が見込めます。

## 人口のさらなる増加



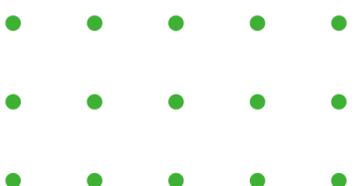
インドの人口は、**2060年に17億人を超える**と予想されており、今後数十年は人口ボーナス期を享受します。

インドでは、生産年齢人口の増加に伴う旺盛な個人消費を支えに、高い経済成長率が続く見通しです。

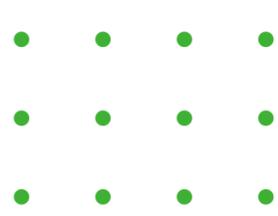
## 世界2位の経済大国へ



現在**世界第5位のGDP**を誇るインド！  
2030年には日本とドイツを抜いて世界3位、2050年には米国を抜いて**世界2位**になると予想されています。



# インド株の購入方法



経済成長に伴って注目を集めているインド株ですが、残念ながら**日本から直接投資をすることは出来ません**。しかし、**間接的に投資することは可能です**。今回は数ある金融商品の中から、初心者の方でも比較的始めやすいインド株投資の方法をご紹介します。

## インド株の投資信託

近年、インド株の投資信託が続々と登場し人気を集めています。

投資初心者の方には、**低コストでインドの株価指数に投資できるインデックスファンド**がおすすめです。

## インド株ADR

「ADR」とは、米国以外の国の株式を米国で流通させるために発行された有価証券です。**インド株のADRであれば、米国株投資同様に取引ができます**。

## ETF（上場投資信託）

ETFは上場している投資信託のことで、**指数に連動するような値動きを目指します**。分散効果が得られ、手数料も比較的安いです。



ETFや投資信託なら、インドの企業に分散投資ができるよ！



# 有望セクターと銘柄分析

## 時価総額トップ5

	銘柄名	業種
1	リライアンス インダストリーズ	石油化学工業
2	タタ コンサルタンシー	IT・情報通信
3	HDFC銀行	金融
4	ICICI銀行	金融
5	バーティ・エアテル	IT・情報通信

上記のトップ5の業種は「石油化学工業」「IT・情報通信」「金融業」となっています。

今やインドは**IT大国**として世界に知られています  
が、**金融業**セクターも注目を集めています。経済が  
高成長するインドでは金融業の業績が堅調であり、  
人口の多さから内需を中心に景気拡大が続き、銀行  
貸付が高い伸びを見せています。



今後も人口増加が見込まれていることから、消費財セクターにも注目だね！

# インド株投資の投資戦略

## 分散投資を意識する



「すべてインド株に投資しておこう」という**集中投資はNG**です。

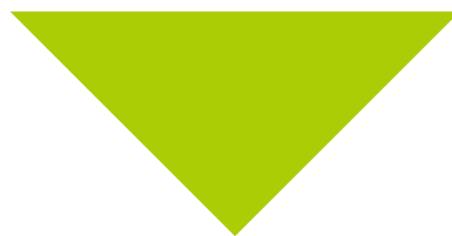
投資はリスクを必ず伴います。持続的な経済成長と株価上昇が期待されるインド株ですが、地域や資産などにも分散しましょう。

## 長期的にNISA投資



インドの名目GDPは2022年時点で世界5位。IMFの予測では2028年に日本とドイツを抜き**世界3位**になるとみられています。

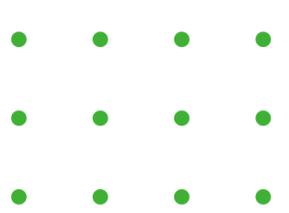
インド株は今後もさらに成長し、中長期で期待できます。中長期で期待できるリターンが大きいので、**NISAを活用して非課税のメリットを最大限に活かす**のもよいでしょう。



**長期的な目線で分散投資**をするのがオススメ。NISAの成長投資枠が使える投資信託も多くあります。



# まとめと今後の展望



## 結論

- インド経済の成長見通しは依然として良好
- ITや金融業に注目
- 分散投資の一環として、インド株の投資信託を組み込むのはアリ！

### 生産年齢人口の増加

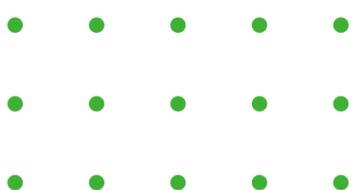
中国を上回る人口は**中長期的なインドの経済発展の下支え**となるでしょう。過去20年間のパフォーマンスは米国株式さえも上回っており、今後も期待できるでしょう。

### 政治的リスク

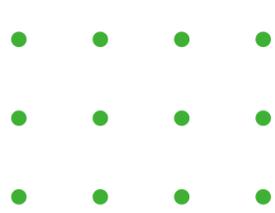
経済規模はどんどん成長していますが、**様々なリスクも抱えています**。新興国は政治や社会情勢の変動リスクが先進国よりも大きくなる傾向があります。そのため、**社会情勢に常に目を見張る必要がある**でしょう。



リスクに対応できるように**分散投資**を実践。また、**インドに関するニュースに常に注目**しましょう。



# 具体的な始め方



## ①いろはにマネーに会員登録（無料）

会員登録がまだの方は、[ここから](#)会員登録をしてください。会員登録限定記事やいろはにスマホブックが読み放題になります。

また、毎週送っているメールマガジンやPodcast、Youtubeを通じて、投資の基礎知識・NISAを始めた後のメンテナンス・無料でAmazonギフト券を貰う方法など**資産防衛・資産形成に役立つ情報**が手に入ります。



会員登録は1分で終わります。  
会員数は3,000人超！あなたも「お金に詳しい人」に仲間入りしましょう。

## ②証券口座を作る

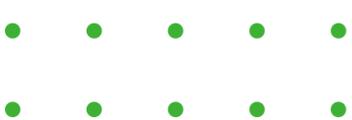
まだ証券口座を持っていない方は、[ここから](#)あなたにあった口座を見つけましょう。

証券口座を作り、まずは「NISA」から始めるのがおすすめです。

## ③投資先を選ぶ

証券口座を作ったら、どの商品に投資するか決めましょう。[ここでは](#)インド株のETFも紹介しています。

また、投資先選びに役立つ情報を次のページでまとめました。



# お役立ち情報



eMAXISインド株式インデックスは投資するべき？

インド株の投資信託について解説しています。

[>>ここから読めます](#)



いろはにマネーのファンド情報

投資信託の評価・利回り・信託報酬一覧

[>>ここから読めます](#)



おすすめの投資診断

あなたの価値観や年収を元に、おすすめの投資方法を3分で診断します。

[>>ここから使えます](#)



お悩み相談チャット"いろは"

投資に関する相談・用語検索ができます。

[>>ここから使えます](#)



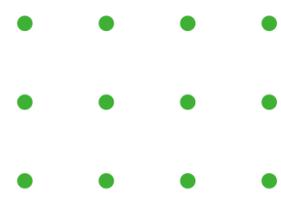
いろはにマネー 投資・お金の知識

定期的にライブ配信を実施しています。チャットで質問をすると、編集長の曾根原や当社所属のアナリストが直接ライブにて回答します。

[>>チャンネル登録はこちら](#)



# おわりに



いろはにスマホブック「インド株投資ガイドブック」  
をご覧いただきありがとうございました。

本書が、いろはにマネーのコンセプトである「**30年  
後の安心、今日から育てよう。**」を実現するための一  
助となれば幸いです。

## いろはにマネー

「いろはにマネー」は株式会社インベストメントブリッジ  
が運営する、未来のためのお金と投資がわかるプラットフ  
ォームです。NISAや個別株、IPO、お得なクレジットカードなど「お金に詳しい人になれる」様々な情報を取り扱っ  
ています。



[@IrohaniMoney](https://twitter.com/IrohaniMoney)



[いろはにマネー](#)



[いろはにマネーの「ながら学習」](#)

PODCAST

執筆：いろはにマネー編集部

当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じま  
す。

また、まとめサイト等への引用も禁じます。

情報は2024年7月時点のものです。

本書籍は特定の商品への投資を推奨するものではなく、情報提供を目的と  
したものです。投資は各自の判断・自己責任にてお願いいたします。

Copyright(C) Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

